

アイドック株式会社
 東京都品川区西五反田7-13-6
 SDI五反田ビル10F
 TEL: 03-5759-2055
 URL: <http://www.keyring.net/>

iDOC
 NEWS RELEASE

報道関係者各位:

2009/7/6

**読書端末向けの著作権保護開発キット「KeyringPDF/SDK」を提供開始
 ～第一弾として富士通フロンテックのカラー電子ペーパー携帯情報端末「FLEPia(フレッピー)」ほか
 2モデルにKeyringPDFを搭載～**

デジタルコンテンツの著作権保護(DRM)ソリューションを開発・販売するアイドック株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役:成井秀樹 以下、アイドック)は、電子ペーパーや液晶ディスプレイを使った読書端末向けに、PDFコンテンツの著作権保護ソリューションとしては国内No.1シェアとなっている「KeyringPDF(キーリングPDF)」を組み込むための開発キット「KeyringPDF/SDK」の提供を開始します。

同時に、「KeyringPDF」が搭載される読書端末の第一弾として、富士通フロンテック株式会社(本社:東京都稲城市、代表取締役社長:海老原光博)のカラー電子ペーパー携帯情報端末「FLEPia(フレッピー)」ほか2モデルが決定したことを発表します。

■開発の背景

アメリカでは2007年にアマゾンが電子ペーパー読書端末「Kindle(キンドル)」を販売開始し、現在では多くのKindle向け電子書籍が販売されています。また、アップルがiPod TouchやiPhoneの大型のメディアプレイヤーまたはMac Bookのネットブックのような端末を投入してくるのではないかという記事も書かれています。これまで電子書籍はPCで読むものか、あるいは携帯で読む特殊な形式のものという印象がありましたが、KindleやiPhoneのような携帯型の端末が普及することにより、紙の書籍に近い利用ができるようになるとうとしています。

読書端末向けにコンテンツの品揃えを充実させるためには、著作権者の了解を得るためにコンテンツの著作権保護は必須の課題です。そこで、日本の出版界でPDF書籍向けDRMとして業界標準になっているアイドックの「KeyringPDF」の読書端末への搭載が期待されています。

また、かつて日本では、ソニーとパナソニックがそれぞれ独自の読書端末を発売しましたが、ともに十分なコンテンツを集めることができずに市場から撤退した経緯があります。アップルのiPodとiTunesの例を見るまでもなく、こうしたメディアプレイヤーを販売する場合、既存のコンテンツの取り込みによる品揃えの充実が最重要の課題だと言えます。

アイドックの「KeyringPDF」は、2004年のサービス開始から5年以上市場での実績があり、電子書籍販売サイト、大手出版社、教材会社など60社以上で採用された結果、15万点以上のコンテンツが流通しています(注)。「KeyringPDF/SDK」を用いて「KeyringPDF」を読書端末に搭載することで、60社以上から販売されている15万点以上の電子書籍コンテンツを読むことができますようになります。

注)「KeyringPDF」が普及した理由は、標準フォーマットであるPDFを使っていることが大きい。独自形式は制作コストが掛かるため、PDFを利用できることは、電子出版を考える出版社にとって重要である。

■製品概要

「KeyringPDF/SDK」は、PDF形式のデジタルコンテンツ(書籍、コミック、小説、雑誌、新聞など)の二次利用や再配布を防止するSaaS※型DRMソリューション「KeyringPDF」を、端末に組み込むための開発キットです。

※ Software-as-a-Service: コンピュータ・システムで使うソフトをインターネットを通じて貸し出すサービスのこと。ユーザーは必要な機能だけを必要なときに利用でき、利用した分だけの料金を支払う。

【対応OS】 Linux、Windows Mobile、Windows CE、Androidなど

【対応PDFビューア】 Adobe Reader LE、Foxit Readerなどの組み込み向けPDFビューア



KeyringPDFが搭載されるカラー電子ペーパー携帯情報端末「FLEPia(フレッピー)」

アイドック株式会社
 東京都品川区西五反田7-13-6
 SDI五反田ビル10F
 TEL: 03-5759-2055
 URL: <http://www.keyring.net/>

iDOC
 NEWS RELEASE

■価格

台数・端末価格に応じて端末当たりのロイヤリティが変動する価格体系

■主な対象ユーザー

読書端末、携帯端末の開発メーカーなど

「KEYRING.NET™」について <http://www.keyring.net/>



コンテンツ流通の基盤技術として、デジタル著作権管理(DRM^{※1})を提供するソリューションブランド。PDF、Flashなどのオープンフォーマットによるコンテンツ販売に必要なDRM機能をSaaS(Software-as-a-Service^{※2})で提供する。ユーザーの使いやすさに配慮した設計で、コンテンツの購入意欲を削ぐことなく安全なコンテンツ配信ができることが特徴。PDFコンテンツ分野では2005年以来、60社以上の実績があり、実質的な業界標準ソリューションとなっている。

■「KeyringPDF(キーリングPDF)」について

【サービス概要】

PDFファイルの不正コピーや不正閲覧を防止するSaaS型DRMソリューション。小説、マンガ、写真集などの電子書籍や高価なレポートデータなどをPDFで提供・販売することが可能。KeyringPDF形式の電子書籍は延べ20万点を超える。

【特徴】

PDF電子書籍販売において意図しない不正利用を防ぎ、PDFコンテンツファイルの不正コピーや2次利用を制限。

【対応OS】 Windows 2000/XP/Vista

【対応PDFリーダー】 Adobe Reader 8以降 または Adobe Acrobat 8以降

アイドック株式会社 概要 <http://www.idoc.co.jp/>

商号: アイドック株式会社

代表者: 代表取締役 成井 秀樹

設立年月日: 1999年7月

資本金: 3,000万円

本社所在地: 東京都品川区西五反田7-13-6 SDI五反田ビル10F (〒141-0031)

主な業務内容: デジタルコンテンツ向け著作権管理システムの開発と販売及びSaaSによる提供

主要取引先: キヤノン株式会社、シャープ株式会社、セイコーエプソン株式会社、ソニー株式会社、日本電気株式会社、富士通フロンテック株式会社、株式会社パピレス、株式会社インプレスジャパン、株式会社ビットウェイ、アспектデジタルメディア株式会社ほか

KEYRING.NET導入サイト: 60サイト以上

素材・プレスリリースなどダウンロード

○プレスリリースなどの資料は、プレス専用URLからのダウンロードもご利用いただけます。

<http://fullforce.jp/idoc/20090706.zip>

○製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記のとおりお願いします。

Copyright © iDOC K.K.

本件に関する 報道関係者様のお問い合わせ先

アイドック株式会社 広報事務局(株式会社フルフォース内)

担当: 池田・荒木 TEL: 03-5297-1662 FAX: 03-5297-2096 e-mail: info@fullforce.jp